

奈良県立大学生協 第28回 通常総会



[組織運営]

取り組み概要

日時：2023年5月30日（火）
18:30~20:00
場所：奈良県立大学生協 食堂ホール
参加者数：書面出席324名、対面出席38名

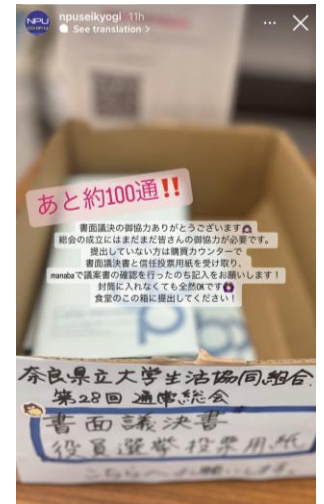
概要：毎年奈良県立大学生協で行われている総会。奈良県立大学では1年次からゼミが開講されているという特徴を活かし、POINT1に記載の通り、ゼミ周りを行うことで書面議決の提出を促進していた。

学生委員大奔走！大学の特色が活かされた総会

POINT.1

いざゼミ周り！書面議決周知だ！

奈良県立大学生協では「総会」の形式を取っており、総会当日までに全組合員の半数から書面議決を得る必要があります。そこで、学生委員会が各学年のゼミに赴いて書面議決の案内を行っていました。加えて、学生委員会のSNSにおいても周知を徹底し、総会当日には全組合員の半数以上の提出率を達成することができました。低年次からゼミが開講されているという大学の特色を活かしながら、書面議決書の提出を促進できていました。ゼミ周りに奔走した学生委員会の皆さん、本当にお疲れ様でした！



POINT.2

生協の、これまでと、これから



総会当日は、各議案の報告・承認だけでなく、これからの方針についての報告も行われていました。奈良県立大学生協の方針に加え、奈良県立大学生協学生委員会の方針の発表があり、これからの目指す方向性を共有することができていました。今後目指す方向を全体共有することで、生協への共通認識を参加者全員で確認することができていました。

POINT.3

意見書をもとにグループ討論

総会終盤では、今後の生協について考えるグループ討論が行われました。事前に提出された意見書からコンテンツをピックアップし、「①食堂においてほしいメニュー」「②購買においてほしいもの」「③あったら良いと思う生協のサービス」「④食堂・購買において改善してほしいこと」について、ざっくばらんに討議が行われました。少人数で同じテーマについて話し合い、現状や課題を言語化できていました。なお、総会当日に出た意見は、総会後の部会においても引き続き議論が行われています。総会の一過性の議論に留めるのではなく、その後の活動において議論が継続されていました。

